

## STAFF

センター長 戸田山 和久

専門領域: 科学技術社会論  
 電話: 052-789-5694, 4874  
 メール: todayama@cshe.nagoya-u.ac.jp

教授 夏目 達也

専門領域: 高等教育学、技術職業教育論  
 電話: 052-789-5693  
 メール: natsume@cshe.nagoya-u.ac.jp

助教授 栗本 英和

専門領域: プロセスシステム学、情報マネジメント  
 電話: 052-789-5925  
 メール: kurimoto@cshe.nagoya-u.ac.jp

助教授 近田 政博

専門領域: 比較高等教育学、初年次教育  
 電話: 052-789-5692  
 メール: chikada@cshe.nagoya-u.ac.jp

助教授 中井 俊樹

専門領域: 大学教授法、高等教育マネジメント  
 電話: 052-789-5385  
 メール: nakai@cshe.nagoya-u.ac.jp

専任講師 鳥居 朋子

専門領域: 高等教育カリキュラム論、教育経営学  
 電話: 052-789-5691  
 メール: torii@cshe.nagoya-u.ac.jp

助手 中島 英博

専門領域: 教材作成法、教育経済学  
 電話: 052-789-5384  
 メール: nakajima@cshe.nagoya-u.ac.jp

助手 青山 佳代

専門領域: 大学評価、西洋教育史  
 電話: 052-789-5814, 5925  
 メール: aoyama@cshe.nagoya-u.ac.jp

専門職員 井上 和美

電話: 052-789-5696  
 メール: inoue@cshe.nagoya-u.ac.jp

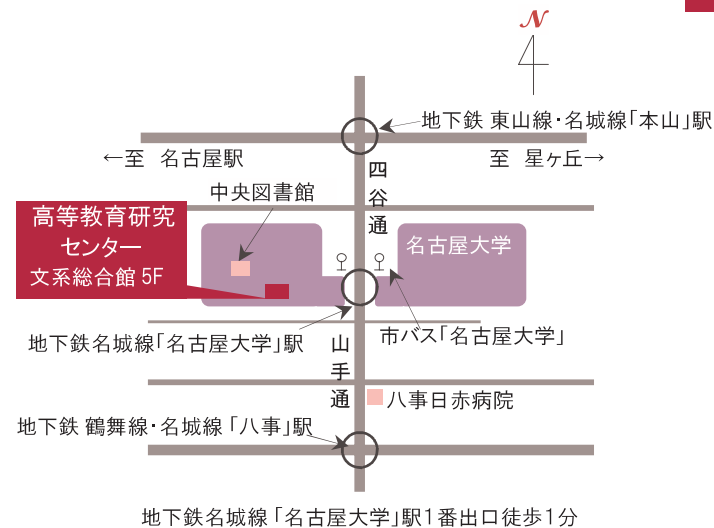
平成17年度 外国人客員教授

ケリーリー・クラウズ (2005年12月～2006年3月)

所属: メルボルン大学(オーストラリア) 客員助教授  
 専門領域: 高等教育初年次教育論  
 メール: k.krause@unimelb.edu.au

平成17年度 国内客員教授

天野 郁夫 国立大学財務経営センター 教授  
 絹川 正吉 国際基督教大学 前学長・名誉教授  
 溝上 慎一 京都大学 助教授



地下鉄名城線「名古屋大学」駅1番出口徒歩1分

名古屋大学 高等教育研究センター

Center for the Studies of Higher Education  
Nagoya University

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

電話 052-789-5696

FAX 052-789-5695

http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/

info@cshe.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学  
高等教育研究センター

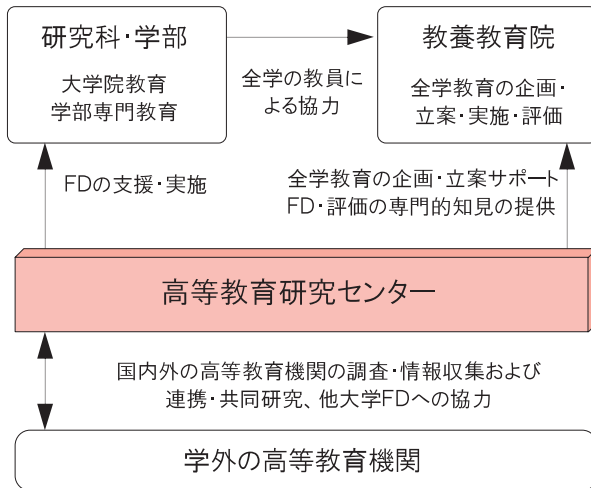
2005-2006

Nagoya University

名古屋大学高等教育研究センターは、平成10年4月9日に学内共同教育研究施設として設置されました「国際的な視野のもとに高等教育研究機関の戦略的課題の解決に貢献する」をミッションとして掲げています。

## 学内共同教育研究施設

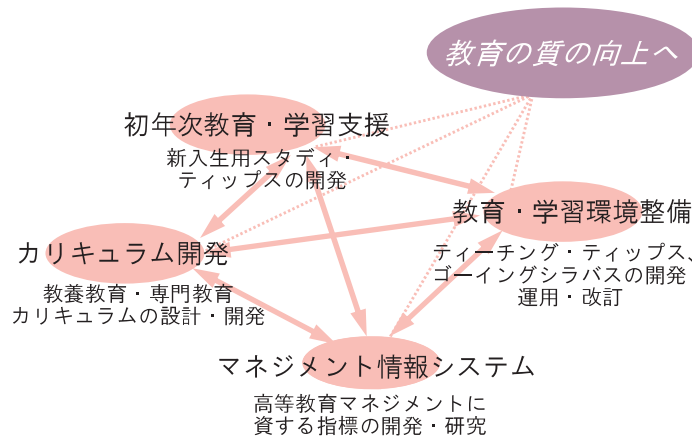
高等教育研究センターは、高等教育に関する専門的・実践的研究、各種資料刊行・ツール開発等を通じた授業改善支援、名古屋大学の全学教育の企画・立案への支援等を行っています。これらを通じて大学教育の質向上に取り組んでいます。



## 研究開発領域

現在、高等教育研究センターでは、①教育・学習環境整備、②初年次教育・学習支援、③カリキュラム開発の3領域を中心とした研究開発を進めています。また、名古屋大学評価企画室と連携して、④マネジメント情報システムの開発も進めています。

研究開発では世界的文脈から名古屋大学の教育改革課題を明らかにし、改革の推進に寄与する知見の提供を目指します。



## 研究活動(平成17年度)

### 1. 名古屋大学の教育の質向上に資する研究を推進する

- ①個々の教員による自発的な授業改善の支援・促進
- ②初年次教育の改善に資するスタディ・ティップスの開発
- ③教養教育のカリキュラム設計と開発に関する研究

### 2. 名古屋大学の組織マネジメントの質向上に資する研究を推進する

- ①評価企画室と連携した「マネジメント情報システム」の開発
- ②大学における戦略策定の手法化に関する研究

### 3. 中部地区における高等教育研究の拠点を形成する

各種出版物やホームページによる研究成果・情報の発信

## FD活動

高等教育研究センターでは、名古屋大学の教育向上のためにさまざまなFD活動を実施しています。

- ①FD講演・ワークショップへの講師派遣
- ②ゴーイングシラバスの使用サポート
- ③授業の悩み相談
- ④メンター紹介
- ⑤授業見学活動
- ⑥各種セミナーの実施

## これまでの主な成果

### ●「特色ある大学教育支援プログラム」(特色GP)の採択

高等教育研究センターを中心に進めてきた大学全体の取組「教員の自発的な授業改善の促進・支援-授業支援ツールを活用した授業デザイン力の形成」が平成16年度の「特色ある大学教育支援プログラム」に採択されました。

本取組は、教員の自発的な授業改善の促進・支援を目的に、授業改善の方法論を開発し、その具体的な実践手段を個々の教員に提供する活動です。

### ●成長するティップス先生

「成長するティップス先生」とは、当センターが開発したティーチングティップス(授業の秘訣集)のことです。当センターは設立以来、本学の教師が日常の教育活動の中で出会う悩みの解決をサポートすべく、ティップスの開発に力を注いできました。平成16年12月には改訂版Ver.1.2ができました。

#### \*オンライン版

平成12年4月に運用開始以来、月平均2万件以上のアクセスがあり、学外からも多くの利用があります。INDEXやFAQからの検索、各種関連情報へのリンク、掲示板機能など、オンラインの特性を活かした構造となっています。

<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/tips/>

#### \*書籍版

平成13年4月に玉川大学出版部から書籍として刊行しました。イラストを使った親しみやすさと携帯性が特徴です。池田輝政・戸田山和久・近田政博・中井俊樹『成長するティップス先生-授業デザインのための秘訣集』玉川大学出版部、2001年。

### ●ゴーイングシラバス

「ゴーイングシラバス」は、大学教員のコースデザイン力の向上と授業支援を目的として制作されたシステムです。「シラバス」「授業記録」「みんなの部屋」の3つのパートから構成され、オンライン上で操作することができます。また、ゴーイングシラバスを上手に活用するための「コースウェア」もオンライン上で利用できます。平成15年には改訂版が公開されています。

<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/gs/>

### ●『名古屋大学新入生のためのスタディ・ティップス』(試作版)

新入生はしたら大学で自発的に学ぶことができるようになるのだろうか。このスタディ・ティップスでは、その基本要素を目標の立て方、対人関係の築き方、目標に到達する方法論、多様な物の見方の4点からわかりやすく説明しました。まだ試作段階ですが、ウェブ上に公開されています。

<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/stips/>

### ●ジャーナル『名古屋高等教育研究』第1号-第5号

毎年1回発行。世界のスタンダードを意識しながら、名古屋大学コミュニティに貢献するという方針を掲げています。